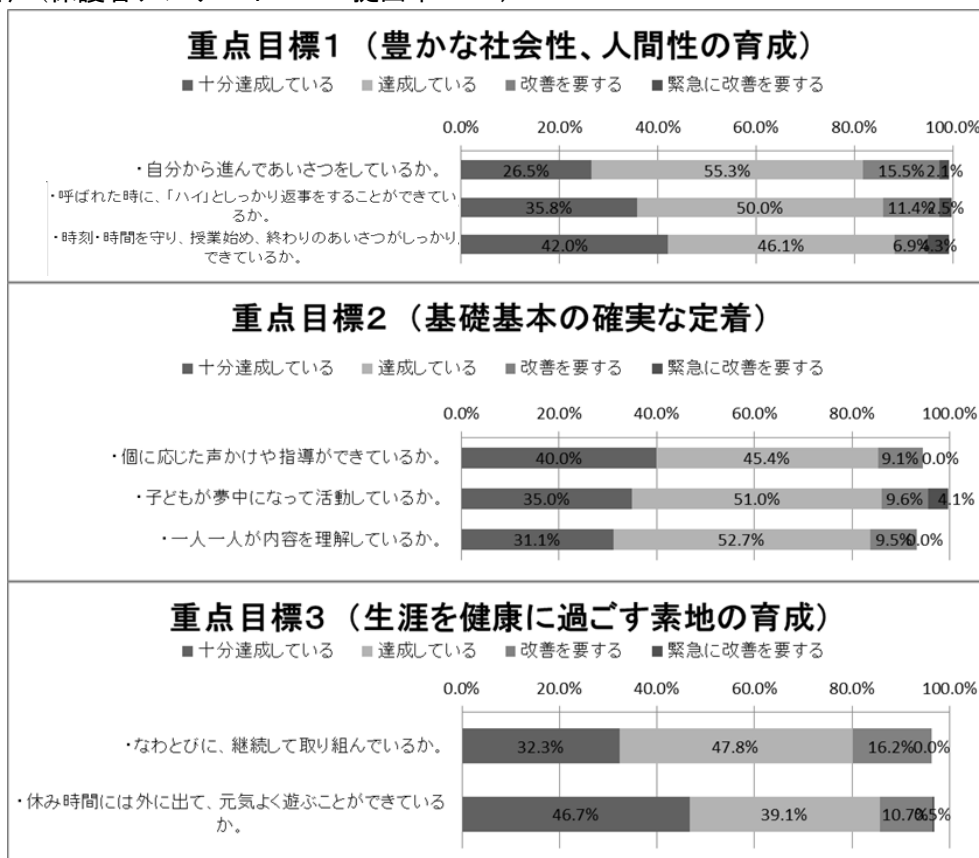


平成29年度 中央区立佃島小学校 自己評価報告書

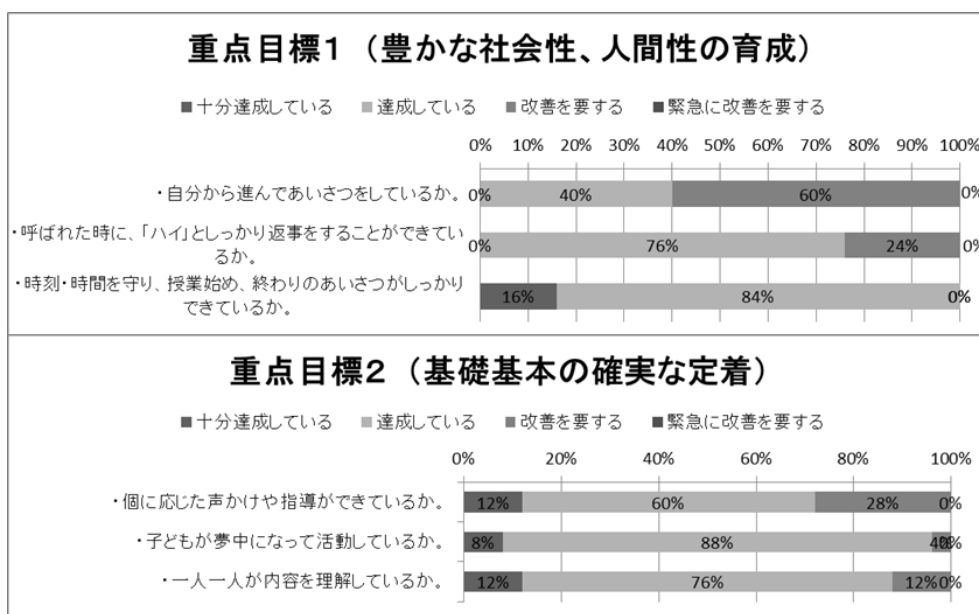
学校名 中央区立佃島小学校 所在地 中央区佃2-3-1  
 校長 大橋 稔  
 児童数 682名 学級数 21 教員数 30名 職員数 21名 (H28.2.28 現在)

1 重点目標の達成状況及び取組状況

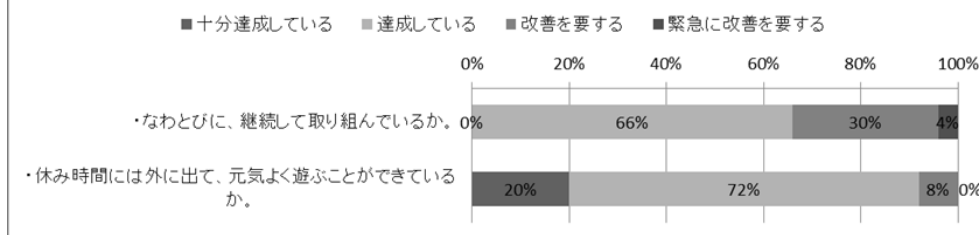
〈保護者〉(保護者アンケート 464 : 提出率 68%)



〈教員〉(25名)



### 重点目標3（生涯を健康に過ごす素地の育成）



#### 重点目標1 豊かな社会性、人間性の育成

今年度も、あいさつに重点を置き、学校全体で取り組んだ。始業式や終業式、全校朝会での講話を通して学校全体に意識付けるとともに、学級ごとに輪番で毎朝玄関に立ち、あいさつ運動を行った。そのことで、あいさつの意識が高まり、元気よくあいさつができる子どもが多く見られるようになってきている。その結果、保護者は80%近くという評価であるが、教員からみると、40%程度しか達成していないという評価である。児童が進んであいさつができるかという、まだまだできていないのが現状である。また、学校での取り組みに関しても、改善が可能であると考えられる。また、時刻・時間を守ること、授業の始め、終わりのあいさつの徹底は、ここ数年で身に付いてきていることが評価から見られる。この点については、指導の効果が出ているものと考えられる。

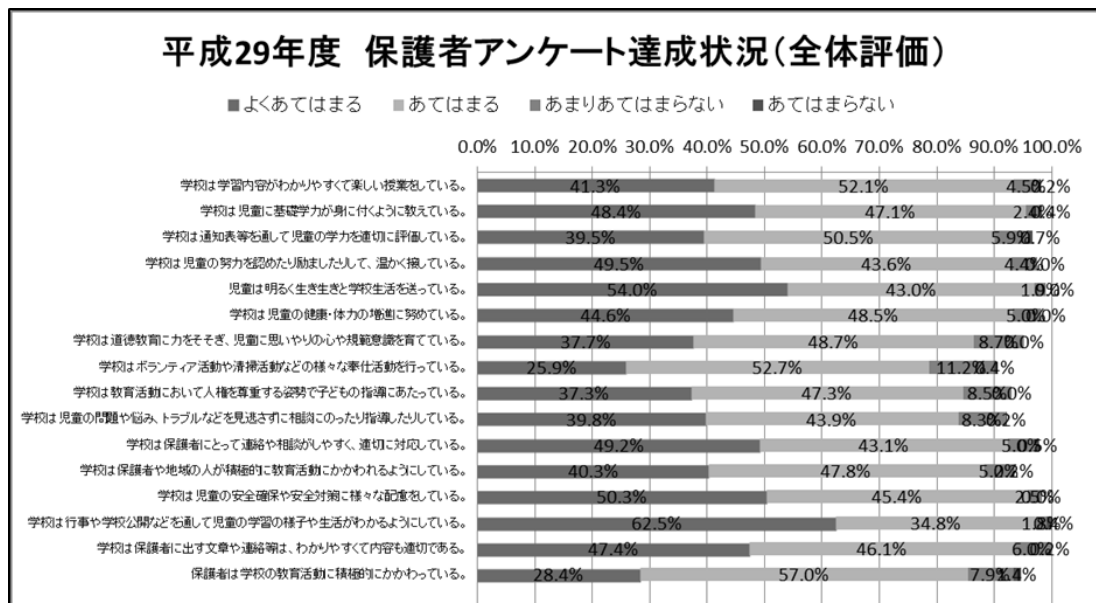
#### 重点目標2 基礎基本の確実な定着

保護者、教員共に80%以上が達成していると評価している。日々の授業の充実を目指して授業改善に取り組んできてはいるが、その様子を学校公開等でご覧いただけたものと考えている。学ぶことが楽しいと子どもが感じられる授業となるよう今後も授業改善を行い、授業内容の充実を図っていききたいと思う。

#### 重点目標3 生涯を健康に過ごす素地の育成

評価指標1「なわとびに継続して取り組んでいるか」では、70%程度評価となっている。昨年度が50%程度であったので、やや改善していることが分かる。本校のマイスクールスポーツ（1校1運動の取り組み）は「なわとび・持久走」である。今回の評価時期が12月ということもあり、なわとびにしぼった評価項目とした。運動会後から大なわ、12月から短なわに取り組んでいるが、継続した取り組みとしてはなかなか難しい状況である。また、今年度初めて行った「マラソン大会」は、多くの保護者から高評価をいただいた。そこで、次年度は、「走る」を本校のマイスクールスポーツとして、取り組むよう年間計画を作成している。

## 2 全体の評価 ＜保護者のみ＞



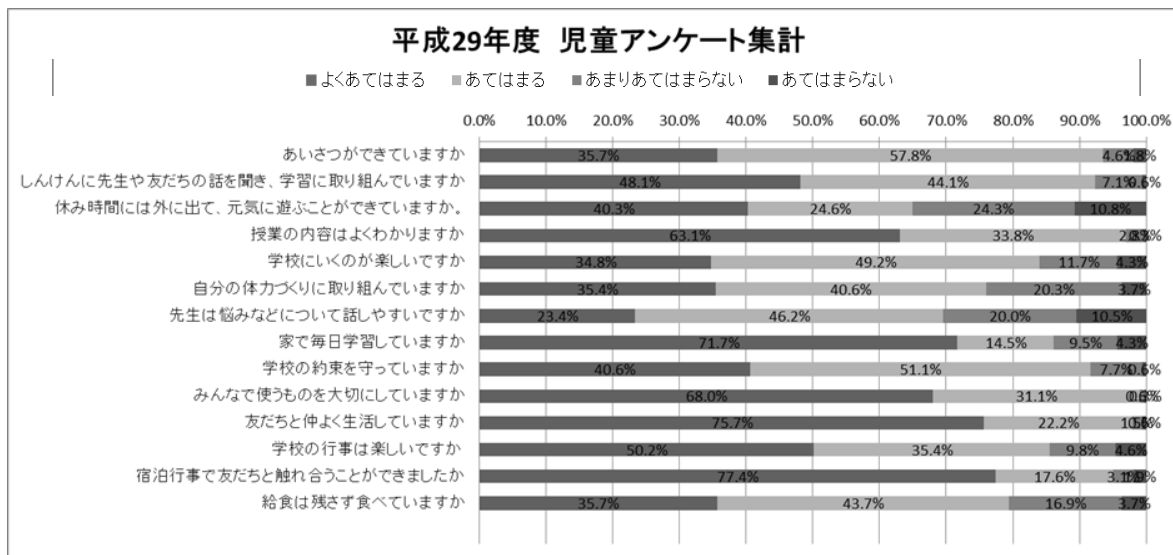
### ◇全体の評価について

本年度も保護者アンケートでの達成状況として16項目中15項目で80%以上達成しているとの評価である。「ボランティア・奉仕活動」の項目も78%であるので、一定の評価いただいたと考える。

「よくあてはまる」の点に着目すると、「児童の様子や生活が分かるようにしている」が62.5%、「明るく生き生きと学校生活を送っている」54%となっている。学校として、この項目に対して、高評価をいただいていることは、学校として喜ばしいことである。今後とも、保護者の皆様と連携を密にし、一人一人の子どもたちが生き生きと生活を送ることができるよう全力を尽くしていく。

また、90%以上評価をいただいている項目が、10項目もあった。次年度も引き続き全教職員、全力で、児童の指導にあたっていく。

### 3 児童アンケートの結果（4・5・6年生）



#### ◇児童アンケートについて

14項目中11項目について「よい」という評価が80%以上となっている。どの項目も昨年度に比べて高い評価となっている。全体的に達成度や満足度が高かったことが分かる。

特に「授業の内容はよくわかりますか」については92%が「よい」と評価している。子どもたちが意欲的に取り組み、理解することで、達成感や満足感を得て、自信をつけていることができている結果であると考えている。今後も「わかる、できる、楽しい」授業をめざしていきたいと考える。また、あいさつの項目を見ると、94%が「よい」と評価している。しかし、教員の評価と大きく違いが見られる。子どもたちの「あいさつ」と教員がめざしている「あいさつ」に違いがあることは事実である。どういう「あいさつ」を目指しているのかを、指導をする必要があると考える。

一方、「先生は悩みについて話しやすいか」の項目は70%であった。昨年は約56%であったので、改善が見られているが、引き続きしっかりと児童の話を聞いて問題解決を図る事を通して、信頼関係を築いていけるようにしていきたいと思う。また、元気に遊ぶこと、体力づくり、という項目がやや低いと感じている。若者の体力低下が課題となっているので、外で遊ぶことを奨励するとともに、体育の研究を通して、運動に親しむ子どもの育成をしていきたいと思う。

### 4 最後に

昨年度の保護者会にて、学校評価の提出率が60%程度であったが、今回、70%近くのご家庭からの提出があった。保護者・地域が一体となって本校の教育について考える一つが、この学校評価の取り組みである。多くの方にご意見を頂けることは、本校の教育に関心ならびに理解をもっていただいているものと捉えている。今回の学校評価を通して改善すべきことについては、次年度の計画に生かしていく。特に、「自分から進んであいさつができる子」「元気よく外で遊ぶ子」については重点をおいて指導していく方針である。